








骨軟部腫瘍グループ：軟部肉腫治療開発マップ

2024.7.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬	
Stage I	 広範切除 ¹⁾				
Stage II					
Stage IIIA	 深在性腫瘍の場合 JCOG0304 Phase II 広範切除 ¹⁾ + 術前後 アドリアマイシン +イホスファミド (AI療法)	 JCOG1306 Phase II/III 広範切除 ¹⁾ + 術前後AI vs. 術前後GD 2014.2~2018.9 →2023.9	 JCOG2102 Phase III 広範切除 ¹⁾ + 術前後AI 5コース vs. 術後AI 3コース 2022.11~	 JCOG2214INT (EORTCとの共同試験) Phase III 後腹膜発生平滑筋肉腫または脱分化 型脂肪肉腫 広範切除 ¹⁾ vs. 広範切除 ¹⁾ +術前アドリアマイシン +ダカルバジンまたはイホスファミド 2023.9~	
Stage IIIB	 浅在性腫瘍 の場合 広範切除 ¹⁾				
Stage IV	アドリアマイシン イホスファミド ²⁾ パゾパニブ ²⁾ トラベクテジン ²⁾ エリブリン ²⁾ ゲムシタピン +ドセタキセル (GD療法) ^{2,3)}	 JCOG1802 Phase II 二次治療 トラベクテジン vs.エリブリン vs. パゾパニブ ランダム化 Phase II 2019.12~2023.3→2024.9		ゲムシタピン ³⁾ ドセタキセル ³⁾	

1) 腫瘍を健常組織で被包し一塊として切除する手術法

2) セカンドライン以降での使用 3) 社会保険診療支払基金の審査情報提供事例として軟部肉腫への使用が認められている

* 再発例は、遠隔転移を伴わない場合は原発腫瘍に準じて取り扱う。遠隔転移を伴う場合はStage IVに準じて取り扱う。